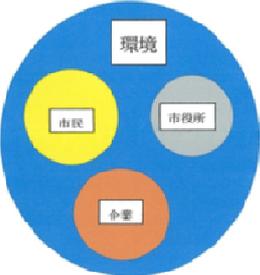


令和2年度第3回安城市環境審議会にて頂いたご意見および回答

1、パブリックコメント回答案に対する意見と回答

委員名	意見番号	パブリックコメント回答案に対する意見	意見に対する回答
浅田 奈津子	1	メダカやホタルの放流規制については知りませんでした。エコネットあんじょうでメダカの稚魚の放流を高棚小の小さな人工池でおこなわれ、「なぜここに？」と思ったのですが、理由がわかりました。広く市民に知らせる必要を感じました。	－
	6	新型コロナウイルス感染症の加筆に賛成です。	－
神谷 輝幸	9	<p>環境省が示した図をそのまま使うのではなく、安城市に落とした工夫をすべきかと思っています。「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包括性のある社会の実現のため、すべての人が、それぞれの立場から広範囲な課題の解決に向けて行動することが求められています。」という理念を達成するための図を工夫してほしいです。言葉で表すなら、現実の環境問題をそれぞれの立場から解決に向けた行動を起こすことが重要ですから環境が包括的な位置となり、その課題にかかわる市民・企業・市役所がそれぞれの立場からアプローチする図を示してほしいです。一案を図に示すなら下図のようになるかと思います。</p> 	計画案11ページは、SDGsについて紹介するページですので、環境省が作成した図を使用させていただきます。
中尾 嘉文	7	<p>①1段落と2段落の順番を変えるとともに周辺自治体を入れ、当初加入した5市首長誓約の精神は踏襲しているような表現にしたらどうでしょうか。</p> <p><回答案></p> <p>「世界首長誓約／日本」への加入は現時点では考えておりませんが、協働の対象は、その範囲を限定せず、都度適切と思われる周辺自治体・組織・団体等と連携を図ってまいります。</p>	<p>TASKIプロジェクトという中部環境先進5市（多治見市、安城市、新城市、掛川市、飯田市）が連携している事業があるため、「周辺」は省き、下記の回答とします。</p> <p>「世界首長誓約／日本」への加入は現時点では考えておりませんが、協働の対象は、その範囲を限定せず、都度適切と思われる自治体・組織・団体等と連携を図ってまいります。</p>
	7	②「カーボンニュートラルは、国として表	<回答案2>を参考にさせていただき、下

		<p>明しているものであり」は半分正しく、半分間違っている表現です。</p> <p>現在、国の正式な計画は令和元年6月11日に閣議決定した「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」の中で、最終到達点としての「脱炭素社会（＝カーボンニュートラル）」を掲げ、それを野心的に今世紀後半のできるだけ早期に実現することを目指すとともに、2050年までに80%の温室効果ガスの削減に大胆に取り組むというもので、国内だけでなく、国連にも提出し、当時はG7ではじめてカーボンニュートラルを掲げたと話題になりました。現在世界で2050年カーボンニュートラルを宣言している国は20カ国程度ありますが、この中に日本はカウントされていません。目標年度が2050年ではないからです。おかしな話ですね。つまり、国としての現時点での正式な目標は2050年より先の時点でのカーボンニュートラル達成です。</p> <p>この目標を前倒しし、2050年時点で△80%から△100%にしようとするのは、昨年10月26日の菅総理所信表明演説の内容です。近いうちに正式な計画になることは間違いないと思いますが、まだ国の正式計画（目標）ではありません。</p> <p>これを踏まえて、</p> <p><回答案1></p> <p>カーボンニュートラルは、国として表明しているものであり、国を構成する一自治体として取り組んでまいります。</p> <p><回答案2></p> <p>2050年カーボンニュートラルは、令和2年10月菅総理所信表明演説の中で表明しているものであり、国を構成する一自治体として取り組んでまいります。</p> <p><回答案3></p> <p>近い将来、正式な計画となる前提で、前倒しして表現はこのまま。</p>	<p>記の回答とします。</p> <p>2050年カーボンニュートラルは、令和2年10月に菅内閣総理大臣が所信表明演説の中で表明しており、国を構成する一自治体として取り組んでまいります。</p>
野村 俊貴	4	<p>実践事例の分かりやすいPRに努めていくという部分について、現状、広報あんじょう等を活用するとなっておりますが、広くPRする為の具体策（広報以外）があるとより多くの人に紹介できると思います。</p>	<p>広報あんじょうだけでなく、商工会議所会報などの活用も考えたいと思います。</p>
久恒 美香	6	<p>新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた</p>	-

		環境行動に取り組むのはとてもいいと思います。	
	9	SDGsを加えたのは分かりやすくいいと思います。	-
都築 秀行	1	「啓発」は必要と考えます。安祥文化のさと地域運営共同体の職員として勤務したときに、池へのメダカ放流、ささら川を清掃管理される団体への声掛け、アサギマダラ、ホタルの放流などにかかりました。このような取り組みは環境に関心を持つきっかけになるため、自分自身にとってもいろいろな意味でプラスになったと思います。また、主体的に取り組んでおられる団体、地域の皆さんとの意見と交流活動を行い、自己満足的なものにならないよう絶えず注意を喚起していくことが大切とも思いました。メダカを例にとってみると、来園された方が無断で持ち帰ること、冬場の生育管理が難しいことなど課題がたくさんありました。やはり、メッセージを送らなければ、取り組む意義など伝わらないとも思います。多くの場所で多くの皆様が取り組んでおられることなので、統一したメッセージのようなものができると良いと思います。アサギマダラ、ホタルも同様です。	-
	3	町内会役員の一環として遊水地の草刈りなど手伝わせていただく機会がありました。西鹿乗川の周辺も草刈りを行いました。三面コンクリートの川は怖いというのが実感です。若いころはそんなことは思いませんでした。年齢を重ねると考え方が変わってきます。自然に近づけることも含めて、少しずつでも結構です。改修を望みます。	-
	5	リサイクルセンター、処分場では、時期にもよりますが大変混雑することがあります。ここに来られる皆さんの、人数や台数、量、時期ごとのデータを生かすことはできますか。実態が分からないのでうまくまとめられませんが、進行管理を一人一人の市民が自分の暮らしの中で数値を見て考えることも必要だと思えます。	-

2、計画全般に対する意見

委員名	意見
飯尾 歩	ご参考までという感じです。修正を求めるものではありません。

①人獣共通感染症に関しては、生物多様性を考える上で重要な概念になると思われますし、身近で考え得べき問題でもあります。「70%以上…」という見解もかなりオーソライズされてきているものと思われますし、引用の形でも付言した方がよかったかと思われます。少なくとも「ワンヘルス」という概念については何らかの形で触れておくべきだったかもしれません。

②安城市としてのカーボンゼロへの工程表は、早急に検討、策定し、基本計画の中に書き込むのは難しくても、なるべく具体的に別途市民に示すべきだと思います。

③いつも申し上げているようなことですが、パブコメを拝見するにつけ、ご常連の方々のご意見が多いような気がします。特に「カーボンゼロ」は市民の皆さんの「生活変容」なくてはなしえません。通り一遍のパブコメだけではなく、できれば自治会単位の「ご意見を聴く会」を自治会主催で開いてみるべきだと思います。かなりハードルの高い提案だとはわかっていますが、せっかくの基本計画をより実効性の高いものにするために。ただし、基本計画はあくまで基本であり、今後、合衆国憲法のように、修正条項を加えていくというのもありかもしれません。